



「多くの人が選挙をするように、五人の手が投票箱へ票を入れている絵を描きました。手のしわを表現するのがちょっと難しくて出来上がるまで十日間ぐらしかかったかな。標語の明

「みんなと外で遊ぶのが楽しいから、ドッジボールも好きです。その講習会で総合福祉会館へ行ったとき、自分の絵が採用されたポスターを見つけた。でも、恥ずかしくて周りの人には話せませんでした」と、はにかんだ。四月からは中学生になる。これからはますます勉強やスポーツに頑張って、たくましく成長してほしい。

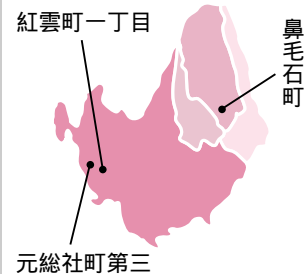
平成十六年度「明るい選挙啓発ポスターコンクール」で県優秀賞に選ばれた。
「先生から教室で入賞したことを聞きました。クラスのみんなが『すごいね』『よかったね』と言ってくれて、とてもうれしかったです」
入賞作品は市のポスターに採用され、公共施設などに掲示。先月二十日に行われた市議会議員選挙の投票率アップに貢献した。

日をつくるあなたの一票」という言葉も自分で考えました。下描きが終わったときに、三つあった候補の中からこれを選んだんです。明るい感じになるように、絵の上の方に虹も描き加えました」
現在、桃井小六年生。授業では図工や書道、算数が好き。学校のサッカーチームにも入っていて、放課後、週二回練習に励んでいる。

多くの人が投票するよう



選挙ポスターで県優秀賞
桜井 尚人さん(11)
紅雲町一丁目



ふれあい広場

情報をお寄せください。市役所広報広聴課 890-6642へ。

歴史を伝える 初午まつり

元総社地区

元総社町第三の阿弥陀寺町公民館で二月十五日、「初午まつり」が行われました。初午とは稲荷様で、明治時代から伝わる五穀豊穡を願う行事。毎年実施しています。

稲荷様へお参りした後、同公民館でお茶を囲みながら、地域に伝わる稲荷様の由来話を聴き、住民同士が親交を深めました。



元総社町第三自治会長の木部茂雄さんは、「若い人たちに、歴史や文化を守っていく大切さを伝え、理解してもらいたい」とこの行事を続けていきたいと話していました。

まちのニュース

「家庭の日」大会で 交流深める

宮城地区



二月六日、鼻毛石町の宮城公民館で、「家庭の日」大会が行われました。

世代を超えて触れ合うことを目的に、若妻会、婦人会、老人会が毎年開催している行事です。

今年は、「現代人の食生活と健康問題」をテーマに、管理栄養士の野口泰子さんが講演。身近な食生活の話で、参加者は熱心に聞き入っていました。

その後は、各会ごとに歌や踊りのアトラクションも披露。

会場は、温かく和やかな雰囲気、みんなで楽しいひとときを過ごしました。